

農村総合整備モデル事業

木場地区の 車道・歩道の一部が完成

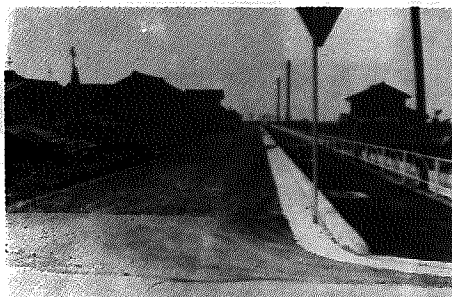
農村総合整備モデル事業は着実に進み、農村部では初めての舗道付きの道路がお目見えしました。

この事業は、五十五年度から今後長期間にわたって、農村部の家庭排水路や道路の整備、さらに数年後には農村環境改善センターの建設などを予定し、都市部に比較し、立ち遅れた農村部の環境をよくしようというものです。

今回は昨年十月から始めていた木場下地区の西側の町道四百メートルの改良と、排水路五百メートルを改修したものです。今後は舗装を行い歩道に街路樹などを植える予定です。これが完成しますと町内では初めての、緑のある町道に変身します。

本年度は、黒鳥地区の排水路、農業道路の整備を行う予定です。

***写真 上：改良前 下：改良後**



10アール当り

標準小作料改訂

四万八百円に

中核的農家による農地の有効利用をはかるには、町の実情に見合った標準小作料を定め貸し手、借り手がお互いに安心して、納得できるようにと小作料協議会(会長本間春市)で十分審議のうえ改正されました。

この標準小作料の運用については、①まず標準小作料額四万八百円に減額勧告にならない範囲である一三〇パーセントを乗じた額の五万三千元が基本額となります。②そして生産費用のうち地主(貸し手)が慣習的に負担してお

り、今後も地主(貸し手)が負担する場合は、その生産費用が基本額五万三千元に上積みされます。

③この標準小作料は農業者年金及び離農給付金を受給するため第三者に経営移譲する場合、一般的な農地法上の貸借などに適用され、これらが農用地利用増進事業、農地移動適正化あっせん事業に該当した地主(貸し手)には一〇アール当り一万円または、二万円の農地流動化奨励金(支給要件に該当する場合)が一回限りですが交付される仕組みになっていますが農業委員会または地元農業委員に相談されながら活用して下さい。

黒塔町農業委員会

標準小作料改訂数値

標準小作料	経営者報酬	生産費用	租 取 益
40,800円 ^{PI}	12,050円 ^{PI}	124,386円 ^{PI}	177,236円 ^{PI}

生産費用内訳

公租公課	資本利子	労働費	農具費	建物費
6,928円	6,326円	31,500円 ^{PI}	32,510円 ^{PI}	4,334円 ^{PI}
防除費	水利費	諸材料費	肥料費	種苗費
9,000円 ^{PI}	12,830円 ^{PI}	5,565円 ^{PI}	10,200円 ^{PI}	5,193円 ^{PI}

**農家の皆さんへ
おそ霜に注意を**

今年度から霜注意報が発令されますと、注意を喚起するため、広報車で音楽を流して通知します。

曲目は「禁じられた遊び」です。この音楽が流れたら明日は霜がおりますよ、という発令です。ので畑作物や稲の苗・果樹などの霜対策を、おこならないようにしましょう。

農作物の霜対策

- ① 水稲育苗
 - ① 早朝は低温になるので、二重三重の被覆を行い保温する。
 - ② 必要に応じて、ストープ等で加温し、八度以下にならないようにする。
 - ③ 折衷方式の中苗は水を張り保温に努める。
- ② 畑作物
 - ① トンネルの枝豆やとうもろこしや発芽期のパレイシヨ、花が咲いてのイチゴなどは被害を受けやすいので注意する。
 - 事前の対策として、育苗後期には苗の硬化をはかり、寒さにまけないようにする。ポリ・コモ・ワラ等で保温する。被害を受けた場合は、生育が遅れるので、グリーンアロー等の葉面散布、速効性肥料を追肥する。病害が発生しやすくなるので、ダコニール、ダイアン等で殺菌剤を散布する。

(第三種郵便物認可)

大野諏訪町にお住いの宮田栄門さん(五十五歳、県庁勤務)が、四十五年前と現在の街並みを比較した大野町鳥瞰図を昨年十二月に完成させました。地図は、一軒一軒の家並みを丹念に調べあげ、家名、商売、諏訪神社境内の池、蒸気船まで描き込まれた精巧なもの。

今年二月には大野小の三年生に「歴史の証言者」として教壇に立ち講義を行い、先生や児童からも大いに感謝されました。

宮田さんが地図製作を思い立ったのは、昨年、公民館の大野町分

館長を引き受けてから。もともと、歴史に興味を持ち年々変化をうける大野町の移り変わりを何とか記録に残そうと研究を始め、朝は五時から夜は十一時まで、一年近い歳月を費やしたという。

宮田さんの次の目標は、古老から聞いた昔話を「大野今昔」として一冊の本にまとめること。江戸中期の大野町の地名の誕生から、安達丸遭難(明治)の橋架設、関東大震災で東



八月発行予定の「大野今昔」が待たれます。

残そうわが町の歴史 宮田栄門さんが地図で再現

京へ援護団の派遣(大正)、町内での楽団、ヤクザ崩りの流行(昭和)などなど。

「ほとんど忘れ去られたようとしている町の歴史を、今、まとめておかなければならない。」と宮田さんは言う。子供供たちにすれば、教科書とは違う自分たちの街の生きた歴史を知ることが貴重でしょう。また地域住民に対して、同じ歴史を持つ者同士としてのコミュニケーションの再認識を促すのではないのでしょうか。

45年前の大野町1軒1軒ていねいに書かれている図面

日清・日露戦争に 参戦されたご遺族へ

大野町のみなさん、諏訪町にお住いの宮田栄門さんが、子どもたちの社会科の勉強に役立てばと、「大野今昔(仮称)」の編纂にあたり、日清・日露戦争に参戦された方の氏名を求めておられます。ご遺族または関係の方は、宮田さんまで、ご連絡下さい。

大野諏訪町 番(7)2495

機械設備の投資を計画 されている企業者へ

新潟県中小企業振興公社では

- 設備価格 二十万円以上一千万円以下
 - 貸与損料 年五%
 - 返済期間 四年半
- 小規模企業者が必要とする機械設備を割賦で譲渡する設備貸与制度の受け付けを四月一日から開始しています。
- 申込期限 予算が満額になるまで。
- ※なお、申込者の資格要件などくわしいことは次の所へ、お問い合わせください。
- 新潟県中小企業振興公社
新潟市学校町通二一五二九三
番025220025番

私の視点

町長 浅妻次一郎

今号から毎月一回(一日号)に町長の雑感を登載します。ご愛読を。

四月からいよいよ新年度に入り新入児童、生徒、新入社員、人事異動等を迎えて国も地方も共に新しくめでたさを新たに感じ取り組んで早くも数日を過ぎた現在どこを向いても晴れやかさがなく思われる。これも財政再建、不況対策、景気浮揚と厳しい社会経済環境がこのような情勢にあると思う。これを払拭するかのようになる四月十四日、日本時間午前二時二十分、初の宇宙連絡船コロンビア号が打上げられ五十四時間余りの飛行を終えて、未、カリフォルニア州のエドワーズ空軍基地にヤング船長、クリッペン操縦士が世界一の技術を実証する見事な夢の大成功帰還である。正に世は宇宙時代の到来であるやがて週休二日制で月旅行の時期も夢ではない。更に心配される、エネルギー、食糧、医療等々の問題も二十一世紀にかけて可能と考えられる、すばらしい色である。そうなる人間は何か、よくよくなる地球上で争うことなれと云いたいところであるが、そうは、うまく問題はあさくない。すでに宇宙軍拡時代が想定されるから恐ろしい、安心とおりは禁物、対する、不安と恐ろしさがあるからである、安心と不安が一体とならなければ、それは人類の滅亡を憂えるからである。